



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場会社名 ダイニック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3551 URL http://www.dynic.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細田 敏夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 木村 博 (TEL) 03(5402)3132
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 19,969 | 5.7 | 720 | 54.8 | 662 | 78.9 | 372 | 63.1 |
| 22年3月期第2四半期 | 18,893 | △16.5 | 465 | △28.9 | 370 | △33.0 | 228 | 5.7 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 8 77 | — |
| 22年3月期第2四半期 | 5 38 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 44,323 | 11,034 | 24.9 | 260 17 |
| 22年3月期 | 45,221 | 11,421 | 25.2 | 269 25 |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,031百万円 22年3月期 11,417百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | — | — | 6 00 | 6 00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | 5 00 | 5 00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|-----|----------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 通期 | 40,500 | 3.5 | 1,300 | 19.3 | 1,100 | 19.4 | 550 | 7.2 | 12 97 | — |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 — 社（ ））、除外 — 社（ ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期2Q | 42,523,735株 | 22年3月期 | 42,523,735株 |
| 23年3月期2Q | 122,933株 | 22年3月期 | 121,023株 |
| 23年3月期2Q | 42,401,528株 | 22年3月期2Q | 42,405,426株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日）におけるわが国経済は、アジアを中心とする海外経済回復に伴う輸出の増加や政府の経済対策効果などにより、緩やかな回復基調にあるものの、依然として雇用・所得環境は厳しく、急激な円高や株価低迷もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、売上高は19,969百万円（前年同四半期比5.7%増）、営業利益は720百万円（前年同四半期比54.8%増）、経常利益は662百万円（前年同四半期比78.9%増）、四半期純利益は372百万円（前年同四半期比63.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して898百万円減少し、44,323百万円となりました。これは主に流動資産の受取手形及び売掛金が315百万円、投資有価証券が498百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して511百万円減少し、33,289百万円となりました。これは主に未払法人税等が213百万円増加し、長期借入金金が747百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して387百万円減少し、11,034百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が382百万円減少したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローについては以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、前第2四半期連結累計期間の1,851百万円の収入に対し当第2四半期連結累計期間は1,357百万円と494百万円の収入の減少となりました。これは、主にたな卸資産の減少額が減少したこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の52百万円の支出に対し当第2四半期連結累計期間は121百万円と69百万円の支出の増加となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が減少したものの、投資有価証券の売却による収入が減少したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の371百万円の支出に対し当第2四半期連結累計期間は875百万円と504百万円の支出の増加となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間に貸借取引契約による支出がなかった一方で、長期借入金金が純減少に転じたこと等によるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,701百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想は、平成22年8月10日に公表いたしました「平成23年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ220千円減少し、税金等調整前四半期純利益は27,240千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,971,124 | 2,749,836 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,350,498 | 11,665,722 |
| 商品及び製品 | 3,252,970 | 3,252,449 |
| 仕掛品 | 896,732 | 890,585 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,752,766 | 1,911,109 |
| 繰延税金資産 | 394,766 | 374,695 |
| その他 | 391,467 | 370,759 |
| 貸倒引当金 | △94,818 | △101,732 |
| 流動資産合計 | 20,915,505 | 21,113,423 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 12,988,089 | 13,020,592 |
| 減価償却累計額 | △9,546,202 | △9,448,045 |
| 建物及び構築物(純額) | 3,441,887 | 3,572,547 |
| 機械装置及び運搬具 | 21,453,039 | 21,711,380 |
| 減価償却累計額 | △19,716,120 | △19,782,645 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,736,919 | 1,928,735 |
| 工具、器具及び備品 | 2,734,844 | 2,737,527 |
| 減価償却累計額 | △2,530,006 | △2,523,742 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 204,838 | 213,785 |
| 土地 | 10,869,611 | 10,881,076 |
| リース資産 | 602,713 | 515,549 |
| 減価償却累計額 | △114,584 | △73,502 |
| リース資産(純額) | 488,129 | 442,047 |
| 建設仮勘定 | 110,639 | 107,468 |
| 有形固定資産合計 | 16,852,023 | 17,145,658 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 4,926 | 7,343 |
| その他 | 33,406 | 34,918 |
| 無形固定資産合計 | 38,332 | 42,261 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,198,676 | 4,696,663 |
| 長期貸付金 | 32,212 | 32,374 |
| 繰延税金資産 | 278,708 | 174,150 |
| その他 | 2,120,602 | 2,128,199 |
| 貸倒引当金 | △113,398 | △111,851 |
| 投資その他の資産合計 | 6,516,800 | 6,919,535 |
| 固定資産合計 | 23,407,155 | 24,107,454 |
| 資産合計 | 44,322,660 | 45,220,877 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,772,881 | 7,787,291 |
| 短期借入金 | 10,697,789 | 10,596,170 |
| リース債務 | 97,255 | 71,137 |
| 未払法人税等 | 293,841 | 80,881 |
| 賞与引当金 | 449,698 | 449,920 |
| 役員賞与引当金 | 16,138 | 22,530 |
| 設備関係支払手形 | 71,009 | 60,913 |
| 繰延税金負債 | 279 | 317 |
| その他 | 884,226 | 935,777 |
| 流動負債合計 | 20,283,116 | 20,004,936 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,288,975 | 7,035,481 |
| リース債務 | 388,290 | 377,662 |
| 繰延税金負債 | 61,449 | 80,652 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,716,609 | 1,716,609 |
| 退職給付引当金 | 4,016,842 | 4,011,593 |
| 役員退職慰労引当金 | 205,908 | 257,079 |
| 環境対策引当金 | 78,600 | 78,600 |
| その他 | 249,091 | 237,538 |
| 固定負債合計 | 13,005,764 | 13,795,214 |
| 負債合計 | 33,288,880 | 33,800,150 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,795,651 | 5,795,651 |
| 資本剰余金 | 944,696 | 944,696 |
| 利益剰余金 | 3,803,715 | 3,686,422 |
| 自己株式 | △27,918 | △27,636 |
| 株主資本合計 | 10,516,144 | 10,399,133 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △706,237 | △323,983 |
| 土地再評価差額金 | 2,386,364 | 2,386,364 |
| 為替換算調整勘定 | △1,164,880 | △1,044,587 |
| 評価・換算差額等合計 | 515,247 | 1,017,794 |
| 少数株主持分 | 2,389 | 3,800 |
| 純資産合計 | 11,033,780 | 11,420,727 |
| 負債純資産合計 | 44,322,660 | 45,220,877 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 18,893,271 | 19,969,284 |
| 売上原価 | 15,015,151 | 15,849,073 |
| 売上総利益 | 3,878,120 | 4,120,211 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,412,772 | 3,399,806 |
| 営業利益 | 465,348 | 720,405 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,366 | 6,009 |
| 受取配当金 | 46,225 | 50,341 |
| 受取賃貸料 | 96,338 | 80,532 |
| 為替差益 | 5,957 | — |
| 雑収入 | 95,179 | 114,825 |
| 営業外収益合計 | 252,065 | 251,707 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 194,367 | 160,705 |
| 為替差損 | — | 12,395 |
| 雑損失 | 152,833 | 136,722 |
| 営業外費用合計 | 347,200 | 309,822 |
| 経常利益 | 370,213 | 662,290 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 818 | 2,631 |
| 投資有価証券売却益 | 47,906 | 4,784 |
| 関係会社株式売却益 | — | 4,984 |
| 負ののれん発生益 | 16,386 | — |
| 特別利益合計 | 65,110 | 12,399 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 2,268 | 16,447 |
| 工場閉鎖損失 | 17,000 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 27,020 |
| 特別損失合計 | 19,268 | 43,467 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 416,055 | 631,222 |
| 法人税等 | 187,627 | 260,837 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 228,428 | 370,385 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 487 | △1,324 |
| 四半期純利益 | 227,941 | 371,709 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 416,055 | 631,222 |
| 減価償却費 | 525,094 | 498,399 |
| その他の償却額 | 1,613 | 1,507 |
| のれん償却額 | 4,339 | 2,417 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | 2,778 | △6,392 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △2,624 | 7,610 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 411 | △51,171 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 2,157 | △2,587 |
| 受取利息及び受取配当金 | △54,591 | △56,350 |
| 支払利息 | 194,367 | 160,705 |
| 為替差損益(△は益) | 544 | △1,531 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △3,174 | △7,236 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △47,906 | △4,784 |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | — | △4,984 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △818 | △2,631 |
| 有形固定資産処分損益(△は益) | 2,268 | 16,447 |
| 負ののれん発生益 | △16,386 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 27,020 |
| 工場閉鎖損失 | 17,000 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 325,662 | 237,651 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 670,163 | 91,664 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △174,506 | 45,715 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 31,415 | △32,788 |
| その他 | △79,572 | △70,297 |
| 小計 | 1,814,289 | 1,479,606 |
| 利息及び配当金の受取額 | 61,970 | 62,865 |
| 利息の支払額 | △205,396 | △155,538 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 180,311 | △30,148 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,851,174 | 1,356,785 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △320,500 | △174,664 |
| 定期預金の払戻による収入 | 320,500 | 227,380 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △586,151 | △181,670 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,650 | 3,310 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △47,244 | △46,897 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 550,365 | 20,225 |
| 関係会社株式の売却による収入 | — | 38,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 18,098 | 162 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 12,781 | — |
| その他 | △1,989 | △6,575 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △52,490 | △120,729 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △247,540 | 283,511 |
| 長期借入れによる収入 | 3,430,000 | 1,200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,106,484 | △2,080,510 |
| リース債務の返済による支出 | △19,135 | △51,140 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 284,224 | 27,700 |
| 自己株式の取得による支出 | △444 | △282 |
| 配当金の支払額 | △169,633 | △254,416 |
| 貸借取引契約による支出 | △1,541,829 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △370,841 | △875,137 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 62,963 | △40,405 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,490,806 | 320,514 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,998,086 | 2,380,436 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,488,892 | 2,700,950 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | 出版・情報 関連 (千円) | 生活・ 工業用途関連 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|---------------------|-----------------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 9,350,035 | 9,543,236 | 18,893,271 | — | 18,893,271 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 92,909 | 211,019 | 303,928 | (303,928) | — |
| 計 | 9,442,944 | 9,754,255 | 19,197,199 | (303,928) | 18,893,271 |
| 営業利益 | 535,262 | 439,988 | 975,250 | (509,902) | 465,348 |

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2. 各事業区分の主要製品

| 事業区分 | 売上区分 | 主要取扱商品 |
|-----------|------------|--|
| 出版・情報関連 | 出版・文具紙製品 | 書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス |
| | 情報関連 | 銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、フィルムコーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート |
| | その他 | 容器密封用アルミ箔、複合フィルム |
| 生活・工業用途関連 | インテリア・住宅関連 | カーペット、壁装材、天井材、ブラインド |
| | 車両工業用途 | 自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター |
| | 衣料用途 | 接着芯地、不織布 |
| | ファンシー商品他 | キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダー加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤 |
| | 運送、製造・加工他 | 商品等運送業、製品製造・加工 |

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

| | 日本 (千円) | その他の地域 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 15,873,516 | 3,019,755 | 18,893,271 | — | 18,893,271 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 900,300 | 691,025 | 1,591,325 | (1,591,325) | — |
| 計 | 16,773,816 | 3,710,780 | 20,484,596 | (1,591,325) | 18,893,271 |
| 営業利益 | 983,060 | 14,160 | 997,220 | (531,872) | 465,348 |

- (注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
ただし、各区分に属する売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
その他の地域 北米・・・アメリカ
ヨーロッパ・・・イギリス
中国・・・中国
東南アジア・・・香港・台湾・シンガポール

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

| | 東南アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-----------|-----------|------------|
| I 海外売上高(千円) | 1,125,114 | 2,253,021 | 3,378,135 |
| II 連結売上高(千円) | — | — | 18,893,271 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 6.0 | 11.9 | 17.9 |

- (注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
東南アジア・・・香港・台湾・シンガポール
その他の地域・・・アメリカ・イギリス・中国
3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「印刷情報関連事業」、「住生活環境関連事業」、「包材関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

「印刷情報関連事業」は、印刷被写体と印字媒体及び印字関連の周辺部材等の事業を行っております。

「住生活環境関連事業」は、住宅や自動車などの住空間とその環境に配慮した部材等の事業を行っております。

「包材関連事業」は、飲食品や医療薬品の効能の維持と内容物の漏れを防止する包材及び部材等の事業を行っております。

なお、「その他」につきましては、衣料用接着芯地やファンシー商品及び運送・保管等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|---------------|------------|------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 印刷情報 関連事業 | 住生活環境 関連事業 | 包材関連 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,682,344 | 5,858,696 | 3,222,221 | 17,763,261 | 2,206,023 | — | 19,969,284 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 116,431 | — | 8,640 | 125,071 | 538,968 | △664,039 | — |
| 計 | 8,798,775 | 5,858,696 | 3,230,861 | 17,888,332 | 2,744,991 | △664,039 | 19,969,284 |
| セグメント利益 | 612,441 | 270,203 | 210,835 | 1,093,479 | 180,235 | △553,309 | 720,405 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△553,309千円には、セグメント間取引高消去△172千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△553,137千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。